

中塚ハイム・時兼住宅給湯器更新工事

令和 7 年 7 月

株式会社原井隆建築設計事務所

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一般建築士 登録 第320892号 原井 隆	検 図	製 図	工事名称 中塚ハイム・時兼住宅 給湯器更新工事	図面名称	図面番号
						表紙	M-00
						縮尺	N.S.

訂正	1. 工事概要		④ 工程報告		8. 交通誘導員		作業期間、交通誘導員を____(人/日) 配置すること。		20. 絶縁継手		標準図 施工3による。	
	1. 工事名称 中塚ハイム・時兼住宅給湯器更新工事		⑤ 工事実績情報の登録		9. 土工事		(1) 埋戻し土は ・ 山砂の類 ※ 根切り土の中の良質土（ヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）		21. 防振継手		※ 合成ゴム製（球形） ・ ペローズ製（スフィア） ※ ポリテラフルオロエチレン樹脂製 ※ ペローズ形 ・ スリーブ形	
	2. 工事場所 三次市君田町東君入332番地・三次市早奴町本郷648番地						(2) 建設発生土は ※ 場外指示の場所に処分 ・ 場外搬出適切処理 ・ 場内指示の場所に敷き均し ・ 場内指示の場所に堆積 ・ 当該工事により発生する建設発生土は、次の公の関与する埋立地に搬出するものとする。 搬出場所 ※当該工事により発生する発生土は、「建設発生土処分一覧表」に掲載されている施設のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費受入費（平日の受入費用）の合計が、最も経済的に建設計サイクルプラント又は建設発生土受け入れ地（一時埋積も含む）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に関する費用は変更しない。なお、工事後監督がなくなったやむを得ない事情により、上記の仕様により難しい場合は、監督員と協議するものとする。		②③ 弁 類		(1) ステンレス管に使用するバルブは50A以下は青銅製、65A以上はステンレス製を使用する。 (2) 給水、給湯に使用するバルブ、水栓類は鉛スレの鉛水質基準適合品を使用する。	
図面番号	建物名称 中塚ハイム 時兼住宅		構造 階数 建築基準法による延べ面積（㎡） 消防法施行令別表第一の区分		備 考				24. 埋設表示		標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。 舗装部分は ※ 鉄製 ・ コンクリート製	
	4. 工事種目 建物別及び屋外 工事種目				屋 外				25. はつり工事		屋外配管の埋戻し時は埋設表示テープを布設する。 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶﾏﾅｰによる。	
	・ 空調調和設備 ・ 換気設備 ・ 排煙設備 ・ 自動制御設備 ・ 衛生器具設備 ・ 給水設備 ・ 排水設備 ○ 給湯設備 ・ 消火設備 ・ ガス設備 ・ 特殊ガス設備 ・ 厨房器具設備 ・ 浄化槽設備								②⑥ 補修など		工事の施工に伴い既存部分を汚染または損傷した場合は、既成にないらひ補修するものとする。	
図面名称	5. 指定部分		※ なし ・ あり(工期:～ 年 月 日)				⑩ 発生材の処理及び産業廃棄物の処理 引渡しを要するものは ・ 有り（ ・ 機器類 ・ 配管類 ） ※ 無し ・ 有り（ ・ 再生資源の利用を図るもの ※ 無し ・ 有り（ ）		②⑦ 支持金物、固定金具		(1) ｼｪｯﾌﾟ及び屋外設置機器のｱｶｶﾞﾐﾄ、ﾅｯﾄはｽﾃﾝﾚｽ製（SUS304）とし、屋外の配管、ﾀﾞｸﾄに使用する支持金物等はｽﾃﾝﾚｽ製（SUS304）又は、溶融亜鉛めっき仕上げとする。 溶融亜鉛めっきは（※ 2種35 ・ 2種50）	
	（改修工事の場合の部分使用 ※ あり ・ なし ）						(1) 本工事で発生した建設廃棄物は、広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市等（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等（選別を含む）により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。（原則、県内処分）		28. 配管の建物導入部		（ ・ 給水 ・ ガス ・ 油）配管の変位吸収は標準図 施工4、5とし設備場所は図示による。 コア内敷型を使用する。	
	6. 設備概要（改修工事の場合は既存の概要を示す。）						(2) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記（1）に掲げる施設のうち受入れ条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。 (3) 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事で、広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。下記項目の総合調整を行い測定表を監督員に提出する。（部） ・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温度湿度の測定 ・ 騒音の測定 ・ 振動の測定 ・ 室内の気流及び塵埃の測定 ・ 浄化槽の放流水水質 ・ 飲料水の水質の測定		29. 管端防食継手		（ ・ 下記による ・ 「工事区分表」による）	
図面番号	冷 暖 房 設 備		空気調和方式 ・ 空気調和（ ・ 単一ダクト方式 ・ 各階ｺﾝﾃﾞｨﾁｮﾅｰ方式 ・ ﾊﾞｯｸｼﾞﾝｸﾞ方式 ） ・ ﾌｧﾝｺｲﾚｲﾄﾞ・ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ併用方式 ・ （ ）		主要熱源機器 ・ 鋼製ボイラー ・ 鉄製製ボイラー ・ 温水発生機（ ・ 真空式 ・ 無圧式） ・ チリンギユニット ・ 直熱吸収冷水機 ・ 小型吸収冷水機ユニット ・ 空気熱源ヒートポンプユニット ・ ﾊﾞｯｸｼﾞﾝｸﾞ形空気調和機		(1) 本工事で発生した建設廃棄物は、広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市等（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等（選別を含む）により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。（原則、県内処分） (2) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記（1）に掲げる施設のうち受入れ条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。 (3) 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事で、広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。下記項目の総合調整を行い測定表を監督員に提出する。（部） ・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温度湿度の測定 ・ 騒音の測定 ・ 振動の測定 ・ 室内の気流及び塵埃の測定 ・ 浄化槽の放流水水質 ・ 飲料水の水質の測定		30. 配管附属品		（ ・ 下記による ・ 「工事区分表」による）	
	排 煙 設 備		換 気 設 備 ・ 1種換気 ・ 2種換気 ・ 3種換気 ・ 機械排煙（ ・ 有り ・ 無し） 適用法規（ ・ 基準法 ・ 消防法）		換 気 設 備 ・ 1種換気 ・ 2種換気 ・ 3種換気 ・ 機械排煙（ ・ 有り ・ 無し） 適用法規（ ・ 基準法 ・ 消防法）		(1) 本工事で発生した建設廃棄物は、広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市等（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等（選別を含む）により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。（原則、県内処分） (2) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記（1）に掲げる施設のうち受入れ条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。 (3) 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事で、広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。下記項目					

注 1) 区分は、●を、項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項のうち選択する事項は ○ の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。○印 ※印の
場合は両方を適用する。

衛生設備	区分	項目	特記事項
衛生器具設備	○	1. 大便器・小便器 2. 小便器用洗浄水節水装置 3. 自動水栓 4. 和風大便器の耐火処理 5. 衛生器具と排水管接続	陶製注意板は ・ 取付け（ ・ 自動洗浄小便器は除く） ・ 取付けない ※ 個別感知方式（電源供給方式 ※ AC100V ・ 乾電池 ・ 流水発電形） 工事範囲は、電気一次側配管配線を除きすべて本工事とする。 電源供給方式 ※ AC100V ・ 乾電池 ・ 流水発電形 標準図（施工66（b））の ※（2） ・ （1） ※ 標準図（施工64） ・ 標準図（施工65）
	●	1. 量水器 2. 量水器附 3. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	（1）親メーター ※ 借用 ・ 買取り （2）子メーター ※ 買取り ・ 借用 （1）親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図（機材57） （2）子メーター用 ※ 標準図（機材57） ・ 水道事業者の指定品 （1）一般配管用 ※ 塩ビライニング鋼管（SGP-VB）（SGP-FVB） ・ ポリ粉体鋼管（SGP-PA）（SGP-FPA） ・ ステンレス鋼管（SUS304） ・ ステンレス鋼管（SUS316） ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） ・ （2）土間配管用 ※ 塩ビライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD） ・ ポリ粉体鋼管（SGP-PD）（SGP-FPD） ・ ステンレス鋼管（SUS304） ・ ステンレス鋼管（SUS316） ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） ・ （3）屋外土中用 ※ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） ・ 塩ビライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD） ・ ポリ粉体鋼管（SGP-PD）（SGP-FPD） ・ 水道用ポリエチレン二層管（50A以下）、水道用ポリエチレン管（75～150A） ・ ステンレス鋼管（SUS304） ・ ステンレス鋼管（SUS316） ・ （4）ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ・ ゴム輪接合 （5）ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ・ 融着継手 ・ 金属製継手 75A以上融着継手 （6）ゴム輪接合の場合、直管以外の継手部には離脱防止金具付とする。 （7）特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 （8）ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。 電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、シリカ、蒸発残留物 （1）公営水道に直結する配管に使用するものは、JIS又はJVS（10K）とする。 （2）高置タンク以降の配管に使用するものは、JIS又はJVS（5K）とする。ただし、特記部分は（10K）とする。 （3）給水引込み部の ・ 止水栓 ・ 弁・ 弁・ 弁は水道事業者の指定品とする。 鋼板製、ステンレス製タンクの保温 ・ 施工する ・ 施工しない ・ 共通仕様書による（附属品を含む） ・ 水道事業者指定品 ※ 合成樹脂製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ アルミニウム合金製 （1）屋外の水栓は ・ キーハンドル ・ 一般水栓 （2）所流し用の水栓は泡沫式とする。 FRP製及びステンレス製水栓（保温形）は、マンホールも保温形とする。
排水設備	○	1. 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	（1）屋内汚水管 ※ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管（VP） （第1樹まで含む） ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 鉛管 ・ コーティング鋼管（ ・ ノンタルエポキシ ・ 塩化ビニル） ・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管（RF-VP） ・ （2）屋内雑排水管 ※ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管（VP） （第1樹まで含む） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 鉛管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ コーティング鋼管（ ・ ノンタルエポキシ ・ 塩化ビニル） ・ 建物排水用リサイクル発泡二層硬質塩化ビニル管（RF-VP） ・ （3）通気管 ※ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管（VP） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管（RF-VP） ・ （4）屋外排水管 ※ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ コンクリート管（外圧1種B形） ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） ・ 排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP-VU） ・ 下水道用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管（RS-VU） ・ 2. グラス阻集器 ※ 工場製品（ ※ SUS製 ・ 鋳鉄製 ・ FRP製） ・ 現場施工品 ・ 耐火被覆 ・ 標準図（施工66（a））を施工する。 ・ 施工しない
	○	1. 配管材料 2. 液化石油ガス容器 3. ガスメーター 4. 容器廻りの配管 5. 容器転倒防止 6. ガス漏れ警報器 7. 漏洩検知装置 8. 配管支持金物 9. その他	（1）一般配管用 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ （2）一般配管（ピット内） ※ 合成樹脂被覆鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） （3）土間配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管（JIS-K6774） （4）屋外土中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管（JIS-K6774） ・ 10Kg ・ 20Kg ・ 50Kg 本 ※ 借用 ・ 買取り （1）親メーターは ・ ガス事業者より借用 ・ 買取り （2）子メーターは ※ 買取り ・ ガス事業者より借用 自動切替式で施工方法は標準図（施工72）の ・ （a） ・ （b） ・ （c） 施工方法は標準図（施工73）の ・ （a） ・ （b） ※ 要（取付位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） ・ 不要 警報器から制御器、遮断弁（又はライコンメーター端子）までの電線管は ・ 別途電気工事 ・ 本工事 ・ 流量検知式（切替形又は圧力監視形） ・ 圧力検知式 ビニル被覆支持金物、又は配管クランプ部を電食防止テープ巻き 都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。

●給湯設備	① 配管材料	※ 保温付き被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ ステンレス鋼管 ※ 湯沸器、給湯器廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 ※ JIS又はJVS（5K）とする。ただし、水道直結部分及び特記部分は（10K）とする。 湯沸器の給排気筒の隠えい箇所は保温を行う。 h（イ）区
	② 弁類	
	③ 保温	
○消火設備	1. 消火栓弁の耐圧	※ 10K ・ 16K
	2. 配管材料	(1) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白管） (2) 一般配管（ピット内） ※ 外面被覆鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） (3) 土中配管用（土間を含む） ※ 外面被覆鋼管
	3. 保温	(1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する (2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する (3) 消火配管の保温は次による。 ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する（ ・ 屋外露出 ・ 給水管に準じる範囲） ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する（ ・ 屋外露出 ・ 給水管に準じる範囲） ・ 屋内消火栓箱 ・ 易操作性1号消火栓箱 ・ 屋内2号消火栓箱 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製等（機器表による） ・ IG-541 ・ IG-55 ・ 窒素 ・ HFC-227ea ・ HFC-23
○浄化槽設備	4. 屋内消火栓箱	
	5. 屋外消火栓箱、ホース格納庫	
	6. 新ガス系消火剤の種類	
○浄化槽設備	7. 新ガス系消火剤の起動方式	※ 手動 ・ 自動、手動切替式
	8. 二酸化炭素消火の起動方式	※ 手動 ・ 自動、手動切替式
○浄化槽設備	1. 処理種別及び方式	・ 小規模合併処理（※ 担体流動方式 ・ 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ・ 脱窒ろ床接触ばっ気方式 ・ 分離接触ばっ気方式） ・ 合併処理（ ・ 接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 回転接触曝気方式）
	2. 形式	※ ユニット形 ・ 現場施工形
	3. 処理能力	処理対象人員 _____人 処理水量 _____m ³ /d 流入BOD濃度 _____mg/ℓ
○浄化槽設備	4. 放流水水質	BOD _____・ 60 ・ 30 ・ 20 ・ 10 mg/ℓ 以下 ・ _____mg/ℓ 以下
	5. 埋戻し土	※ 根切土の中の良質土（FRP槽周囲は山砂の類） ・ 購入土
	6. 消毒薬	3ヶ月分相当を納入する。
○浄化槽設備	7. その他	性能責任施工とする。 竣工後6ヶ月間流入、放流のSS、BOD、PH、透し度、大腸菌個数等を報告する。

空気調和設備

区 分		項 目		特 記 事 項																																										
○ 空 気 調 和 設 備	1. 設計用温湿度条件			<table><tr><th rowspan="3"></th><th colspan="2">外 気 条 件</th><th colspan="4">室 内 (調 整 目 標 値)</th></tr><tr><th colspan="2">一 般 系 統</th><th colspan="2"></th><th colspan="2"></th></tr><tr><th>温 度 (DB)</th><th>湿 度 (RH)</th><th>温 度 (DB)</th><th>湿 度 (RH)</th><th>温 度 (DB)</th><th>湿 度 (RH)</th></tr><tr><td>夏季</td><td>℃</td><td>%</td><td>28.0℃</td><td>50%</td><td>℃</td><td>%</td><td></td><td></td></tr><tr><td>冬季</td><td>℃</td><td>%</td><td>19.0℃</td><td>40%</td><td>℃</td><td>%</td><td></td><td></td></tr></table>							外 気 条 件		室 内 (調 整 目 標 値)				一 般 系 統						温 度 (DB)	湿 度 (RH)	温 度 (DB)	湿 度 (RH)	温 度 (DB)	湿 度 (RH)	夏季	℃	%	28.0℃	50%	℃	%			冬季	℃	%	19.0℃	40%	℃	%		
		外 気 条 件		室 内 (調 整 目 標 値)																																										
		一 般 系 統																																												
		温 度 (DB)	湿 度 (RH)	温 度 (DB)	湿 度 (RH)	温 度 (DB)	湿 度 (RH)																																							
	夏季	℃	%	28.0℃	50%	℃	%																																							
	冬季	℃	%	19.0℃	40%	℃	%																																							
	2. 冷水・温水・冷温水管			※ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) ・ ステンレス鋼管 (SUS304)																																										
	3. ドレン管			・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) ※ 硬質塩化ビニル管 (VP) (RF-VYP)																																										
	4. 冷却水管			・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) ・ 塩化ビニリング鋼管 ・ ポリ粉体鋼管																																										
	5. 膨張・空気抜・補給水管			※ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) ・ ステンレス鋼管 (SUS304)																																										
6. 空調用給水管			※ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ 塩化ビニリング鋼管 ・ ポリ粉体ライニング鋼管																																											
7. 蒸気給気管			※ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管)																																											
8. 蒸気還水管			※ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (STPG370 黒sch40)																																											
9. 油・油用通気管			※ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管)																																											
10. 冷媒管			※ 断熱材被覆鋼管 ・ 鋼管 ・																																											
11. 弁類			JIS又はJVS (5K) とする。ただし、特記部分は (10K) とする。																																											
12. フッコエント			※ 流量調節弁 ※ 冷温水管の接続部 (往・還) にはボール弁を取り付ける。 ・ 定流量弁 (・ ガイダル式流量可変式 ・ カトリッジリリス形) を取付ける。 ※ 床置形にはサブドレンパンを設けるものとし、材料等はドレンパンに準ずる。																																											
○ 換 気 設 備	13. 天井吊り形FCU及び全熱交換機換気扇			(1) 遠方操作スイッチのフラッシュプレートは金属製 (アルミ、新金属も含む) とする。 (2) 遠方操作スイッチの渡り配管 ・ 別途工事 ・ 本工事 (3) 遠方操作スイッチの渡り配線 ・ 別途工事 ・ 本工事																																										
	14. 吹出口・吸込口			(1) アルミニウム製は塗装を ※ 行う ・ 行わない ・ 鋼板製 (2) 吸込口GVFSは防火シャッター付吸込口を示す。																																										
	15. ダクト			(1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト (2) 矩形ダクトは ・ アングルフランジ工法 ※ コーナーボルト工法 (・ 共板工法 ・ スライドフランジ工法) (厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。) (3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 (4) 厨房用ダクトの板厚																																										
	矩形ダクトの場合			(単位mm)																																										
			ダクトの長辺		ステンレス鋼板		亜鉛鉄板																																							
			450以下		0.5以上		0.6以上																																							
			450を越え1,200以下		0.6以上		0.8以上																																							
			1,200を越え1,800以下		0.8以上		1.0以上																																							
			1,800を越えるもの		0.8以上		1.2以上																																							
			円形ダクトの場合		(単位mm)																																									
			円形ダクトの寸法		ステンレス鋼板		亜鉛鉄板																																							
			300以下		0.5以上		0.6以上																																							
			300を越え750以下		0.5以上		0.6以上																																							
			750を越え1,000以下		0.6以上		0.8以上																																							
			1,000を越え1,250以下		0.8以上		1.0以上																																							
16. ダンパー			(1) 防火ダンパーは塗装色により区分する。 (2) 防煙ダンパー 復帰方式：遠隔復帰式 (定格入力はDC24V, 0.7A以下とする。) (3) ピストンダンパー 復帰方式：遠隔式																																											

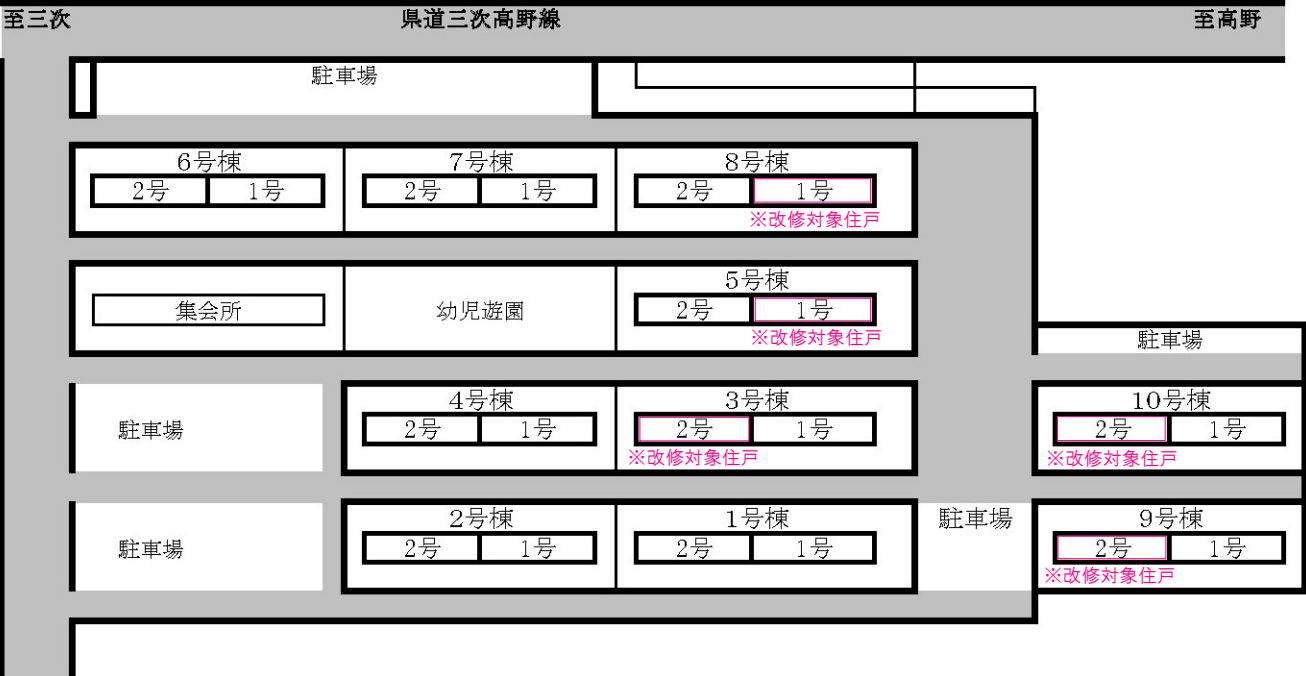
○ 空 気 調 和 設 備	17. 風量測定口 18. チャンバー等	取付け位置は図示による。 (1) 線状吸出口には、接続チャンパー（長さ＋100×300×300H）を設ける。 (2) シーリングディフューザーの接続は標準図（施工４７）による。 施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 (3) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には原則として排気を考慮する。
	19. 消音内貼り	(1) 空調用吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 (2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 (3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を設ける。 点検口の大きさは、原則として400×600とする。 ・ グリスエクストラクター ・ グリスフィルター
	20. グリス除去装置	(1) 形式はビーター管（コック付）とする。 ※ 着脱式 ・ 固定式 (2) 下記の箇所、若しくは図示により取付ける ・ 冷凍機種の冷卻水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ 冷凍機種の冷却水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ 冷水温ヘッダーの各送り管 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ ユニート形空気調和機の冷水温入口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ メカニカル形 ・ 風速センサー形
	21. 瞬間流量計及び流量測定口	標準図によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ ユニート形空気調和機廻りの送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト
	22. 定風量、変風量ユニット	機器附属品以外の温度計は ※ 工業用バイメタル式温度計 ・ ガード付きL形温度計
	23. 温度計	標準図によるほか図示した箇所に取付ける。 (1) 空気溜りを生ずると思われる箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置（※ 手動 ・ 自動）を設け排水口まで配管する。 (2) 自動空気抜き弁装置は、標準図（施工３６（g））による (1) 厚さ ※ 3. 2mm ・ 4. 5mm (2) 煤煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付座を取付ける (3) 煤塵量測定口（80φ×2）を ※ 取付ける ・ 取付けない 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管、及び空調室内ユニット等の吊り、及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。 油面計はゲージ式（側圧式）とする。
○ 換 気 設 備	24. 圧力計	(1) 据付け方法（標準図）は ・ 地下オイルタンク据付け図（施工３１） ・ 鋼製強化プラスチック製二重貯タンク据付け図（施工３０） (2) 鋼板製タンクの保護被覆は ※ エポキシ樹脂 ・ 強化プラスチック (3) 遠隔油量指示装置（電気式で〔 ・ 室内 ・ 室外〕より油量監視用）を取付ける。 (4) 基礎杭は ※ 不要 ・ 要（但し杭 ※ 別途工事 ・ 本工事） (5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） (1) 液面制御装置の機能は下記による。 ・ 給油ポンプの起動、停止 ・ 返油ポンプの起動停止 ・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠方警報接点（ ・ 満油 ・ 減油） (2) 返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは、通断形接点とする。 ※ 設ける（図示した箇所に取付ける） ・ 設けない 空気調和機器等又はフィルターの装着枚数の100％を予備品（枠付）として納める。 ファンコイルユニットは総台数の約50％に当たるフィルターを予備品（枠付）として納める。 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100％を予備品として納める。 空調用水の水質基準は、日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器水質ガイドライン）による。 ※ R407C、R410A又はR32 形式 煙管式又は液管式 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 インバーター機の表示された能力は、型式で選定する。
	25. 冷温水管等の空気抜き	製造業者の標準品とし、原則として冷媒管と共巻きとする。（エアコン含む）
	26. 鋼板製煙道	
	27. 防振吊り及び支持金物	
	28. オイルサービスタンク	
	29. 地下オイルタンク	
○ 換 気 設 備	30. 液面制御装置	
	31. 油積算流量計	
	32. フィルターの予備品	
	33. 水質基準	
	34. 冷媒ガス	
	35. 直接吸取冷温水機	
○ 排 煙 設 備	36. 冷却塔	
	37. パッケージ空調機の能力表示	
	38. パッケージ空調機の内外渡配線	
	1. 一般事項	空調、換気の当該事項を適用する。
	2. ダクト	※ 高圧１ダクト ・ 高圧２ダクト ※ 亜鉛鉄板製 ・ 銅板製
	3. 排煙口	・ バネル形（ ・ 天井取付 ・ 壁取付） ・ スリット形（ ・ 天井取付 ・ 壁取付） ・ ダンパー形（ ・ 天井取付 ・ 壁取付）
○ 自 動 制 御 設 備	4. 排煙口開放及び閉鎖方式	電気式（遠隔操作 ※ 不要 ・ 要）
	5. 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準平成20年度版（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる
○ 自 動 制 御 設 備	1. 中央監視制御装置	・ 有り（構成機能は図示による） ・ 無し ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ・ 不要
	2. 電源装置	取付け高さは ※ 1300mm
	3. 温度調節器等	(1) 屋外、屋内露出の配線は、図示に特記がない限り金属配管とする。 天井隠蔽の配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 (2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般事項17. 電線類の規格による。 (機器、盤類はこれによらずともよい) 用途： ①電源線、接地線 ②電気式の調節器（サーモ、ヒューミディ）用電線 ③各種検出器（温度、湿度等）、操作器（バルブ、ダンパー等）における弱電信号、通信線を除く制御線
	4. 計装工事の記録	

町 正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5582号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	検 図	製 図	工事名称 中塚ハイム・時兼住宅 給湯器更新工事	図面名称 特記仕様書2	図面番号 M-02
						縮尺 N.S.	区分

Topographic map of the area around Kunita Town, showing the Kunita River (神野瀬川) and surrounding terrain. The map includes contour lines, elevation points (e.g., 210.7, 214.8, 237.6), and place names like 松が瀬 (Matsugase) and 石郷 (Ishikyo). A scale bar indicates 100 meters.

訂正		TAKASHI HARAI ARCHITECTS 株式会社原井隆建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県知事登録 23(1)第5682号 一級建築士 登録 第320892号 原井 隆	横 図	製 図	工事名称	図面番号 附近見取図 M-03	図面枚数 A3判 : NS.	区分
					中塚ハイム・時兼住宅 給湯器更新工事			

中塚ハイム住宅位置図



■改修内容（各戸共通）

ガス給湯器・リモコン	取替 給湯専用オートストップ 屋外壁掛形20号 リモコン（台所×1、浴室×1） 【ノーリツ】GQ-2039WS-1同等品
リモコン線	既存のまま
給水管	既存のまま
給水バルブ	取替
給水接続フレキ管	取替
給湯管	既存のまま
給湯接続フレキ管	取替
ガス管	既存のまま
ガスバルブ	取替
ガス接続フレキ管	取替
凍結防止ヒーター	取替（給水管×1、給湯管×1）
保温	取替 給水給湯管・バルブ：パイプガード 接続フレキ管：保温チューブ

時兼住宅配置図

